

# 大阪経済の情勢

(2021年1月指標を中心に)

2021年3月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

## 「大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」

**需要面**では、個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。家電販売額、新車販売台数は増加、百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は減少。家計消費支出(近畿;12月)は増加。投資は、弱い動きとなっている。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アメリカ向け以外の地域向けで増加。輸入額は減少。

**供給面**では、生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(12月)では、生産は横ばい、出荷は上昇。近畿の生産(12月)は低下、全国の前月(1月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(12月)は低下。

**先行き**では、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動は大幅に下押しされた状態が続いているため、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要								
		消費				投資		貿易・観光		
		一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
1月										
12月										

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)
1月						
12月						

※前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

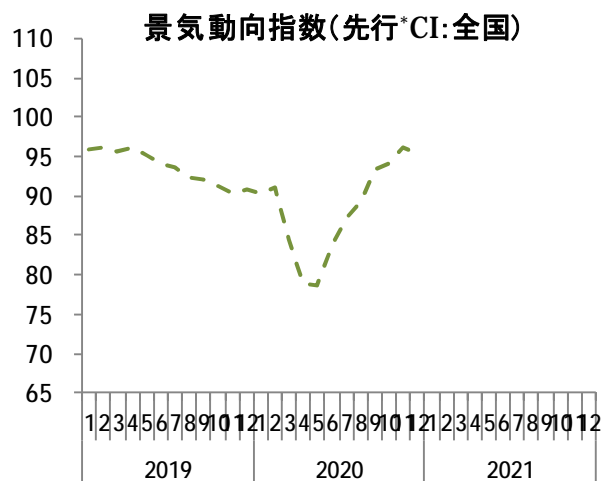
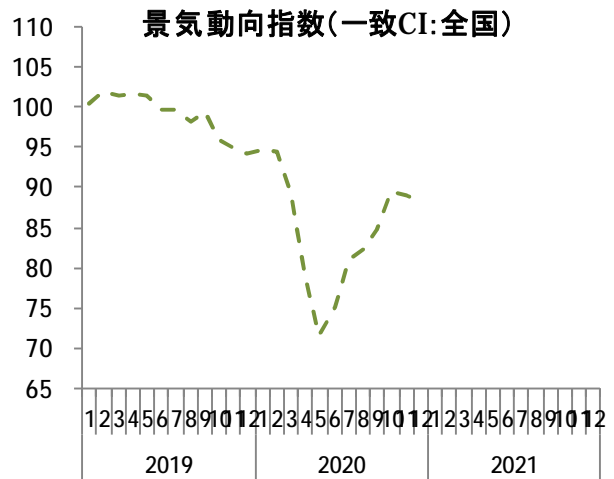
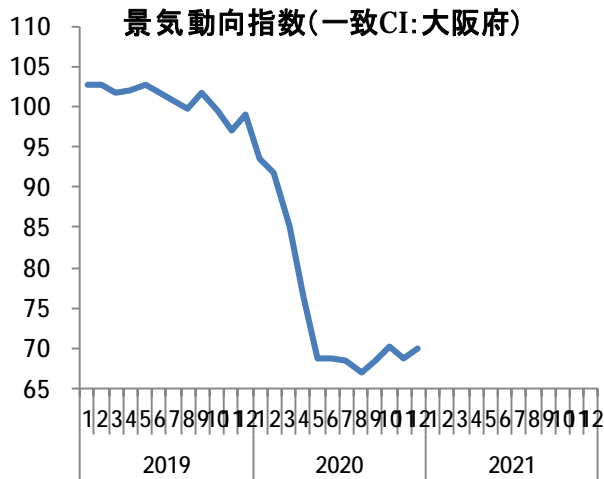
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2021年1月公表分) (2020年11月指標中心)	先月(2021年2月公表分) (2020年12月指標中心)
<a href="#">大阪産業経済リサーチセンター「大阪経済の情勢」</a>	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。
<a href="#">内閣府「月例経済報告」</a>	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。
<a href="#">近畿経済産業局「近畿経済の動向」</a>	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。
<a href="#">日本銀行大阪支店「関西金融経済概況」</a>	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体として持ち直しの動きが続いている。	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体としては持ち直し基調にある。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(12月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「所定外労働時間指数(製造業)」「生産財出荷指数」が上昇に寄与。全国(12月)の一致CI、先行CIはともに低下。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	20年11月	12月	21年1月
先行CI	88.3	P 93.8	
一致CI	68.8	P 69.9	

	全国		
	20年11月	12月	21年1月
先行CI	96.1	95.3	
一致CI	89.0	88.3	

一致CIの個別系列の寄与度\*(大阪府、12月速報)

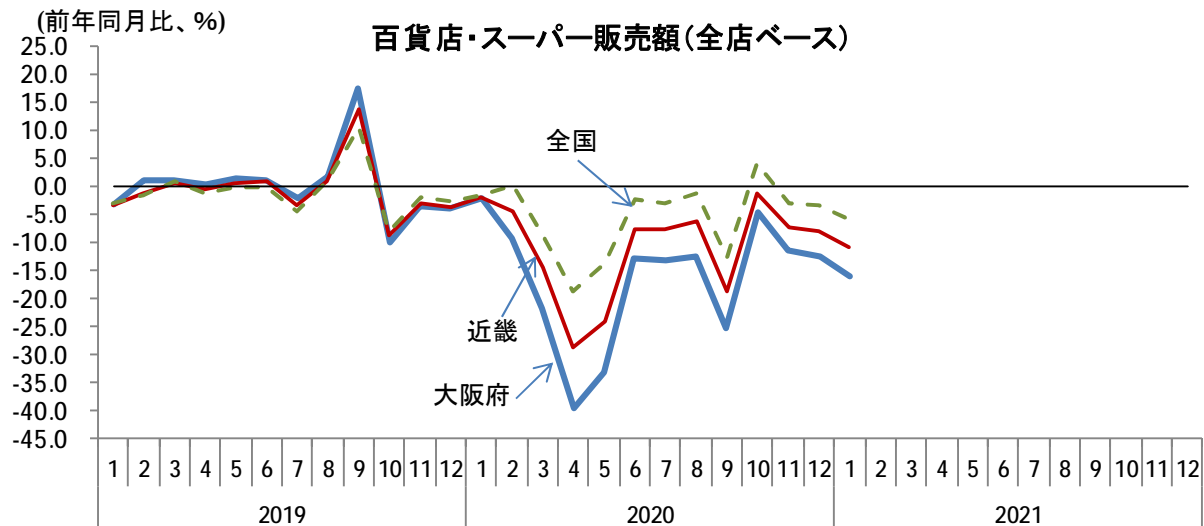
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
▲0.09	0.23	0.01	0.35	0.06	▲0.26	0.73

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

## [需要] 消費

個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。家電販売額、新車販売台数は増加、百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は減少。家計消費支出(近畿;12月)は増加。

### ○百貨店・スーパー販売額(全店)【16ヶ月連続の減少。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		20年11月	12月	21年1月
販売額(億円)	大阪府	1,363	1,738	P 1,280
前年比(%)	大阪府	▲11.6	▲12.4	P ▲16.1
	近畿	▲7.5	▲8.0	P ▲11.0
	全国	▲3.2	▲3.3	P ▲5.8

百貨店販売額(全店)

		20年11月	12月	21年1月
前年比(%)	大阪府	▲18.4	▲19.4	P ▲30.6
	全国	▲15.1	▲14.5	P ▲30.3

スーパー販売額(全店)

		20年11月	12月	21年1月
前年比(%)	大阪府	▲4.2	▲3.2	P ▲0.6
	全国	2.6	2.4	P 4.8

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【11ヶ月連続の減少。】

		20年11月	12月	21年1月
販売額(億円)	大阪府	668	683	P 628
前年比(%)	大阪府	▲3.3	▲7.0	P ▲7.0
	近畿	▲1.6	▲4.6	P ▲5.5
	全国	▲2.4	▲3.8	P ▲4.4

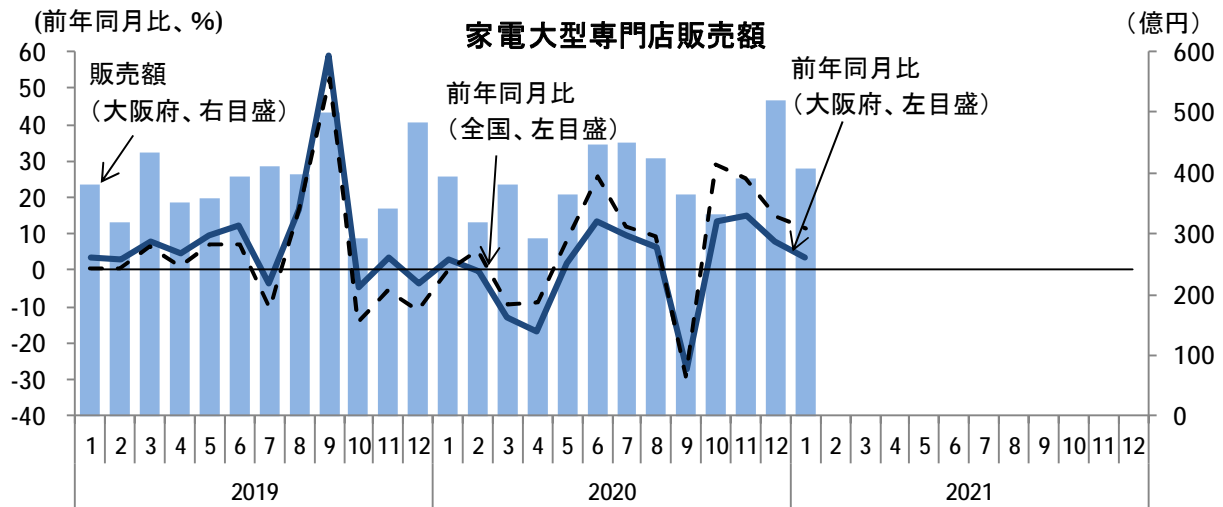
### ○家計消費支出【近畿(12月)は3ヶ月連続の増加。】

		20年11月	12月	21年1月
円	近畿	283,697	313,392	
前年比(%)	近畿	6.1	2.3	
	全国	0.0	▲2.0	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

## [需要] 消費

### ○家電販売額【前年同月比で4ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		20年11月	12月	21年1月
前年比 (%)	大阪府	14.8	7.8	P 3.8
	全国	25.3	14.7	P 11.4

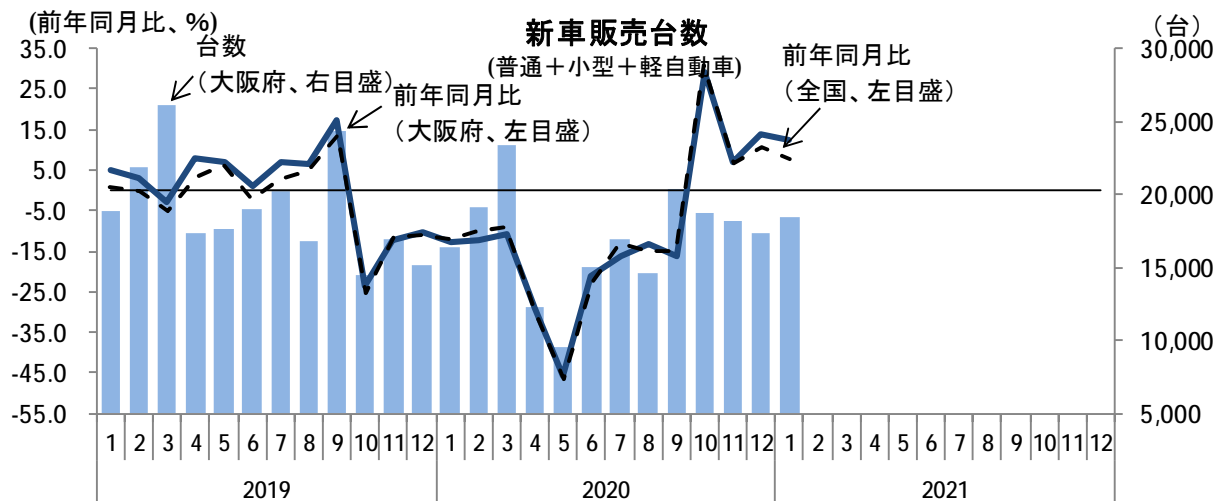
ドラッグストア販売額(全店)

		20年11月	12月	21年1月
前年比 (%)	大阪府	▲10.1	▲7.8	P ▲12.2
	全国	7.0	4.9	P 3.4

ホームセンター販売額(全店)

		20年11月	12月	21年1月
前年比 (%)	大阪府	1.8	3.0	P 5.5
	全国	7.3	7.6	P 10.8

### ○新車販売台数【前年同月比で4ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

		20年11月	12月	21年1月
販売額(台)	大阪府	18,190	17,300	18,461
前年比 (%)	大阪府	7.0	14.0	12.6
	全国	6.7	10.9	7.8

車種別の増減

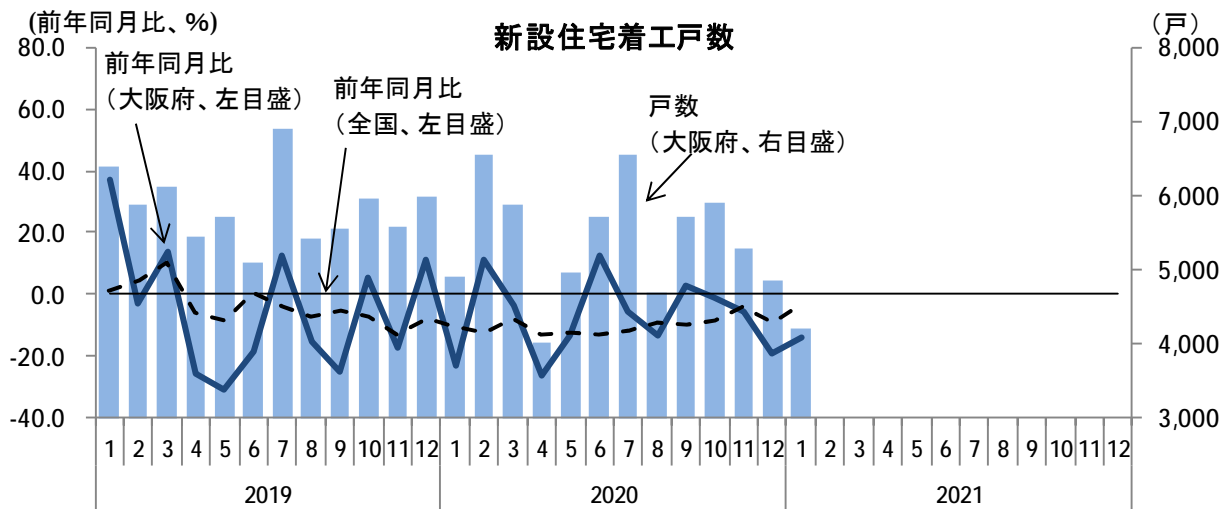
(大阪府、前年同月比(%)、21年1月)

普通車	小型車	軽自動車
16.9	9.3	9.0

## [需要] 投資

投資は、弱い動きとなっている。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は減少。

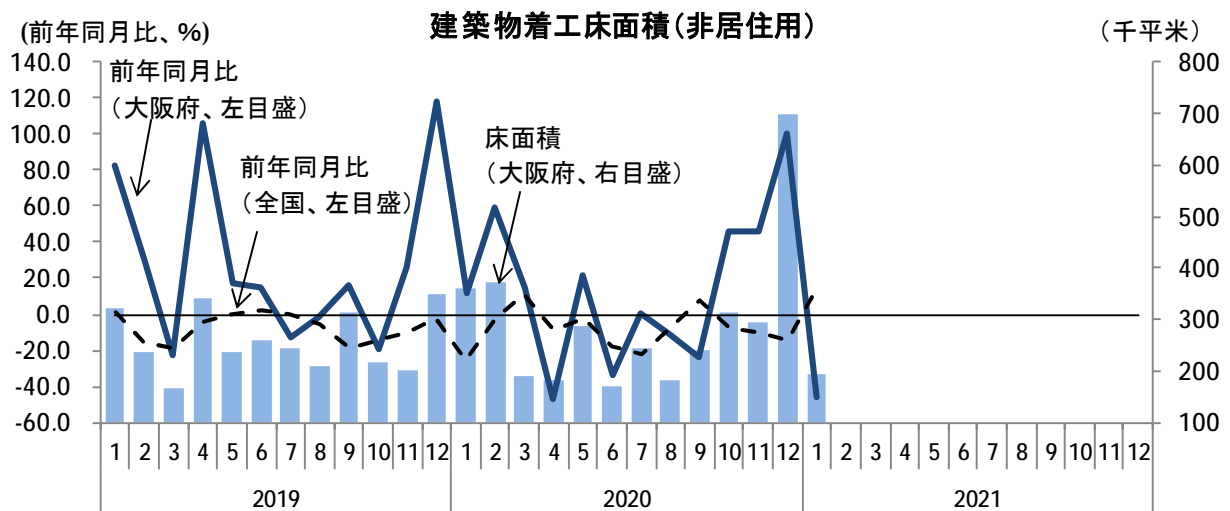
### ○新設住宅着工戸数【前年同月比で4ヶ月連続の減少。】



		20年11月	12月	21年1月
戸数	大阪府	5,276	4,845	4,219
前年比 (%)	大阪府	▲5.3	▲19.2	▲14.0
	全国	▲3.7	▲9.0	▲3.1

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、21年1月)		
持家	貸家	分譲
14.1	▲36.3	8.2

### ○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で4ヶ月ぶりの減少。】



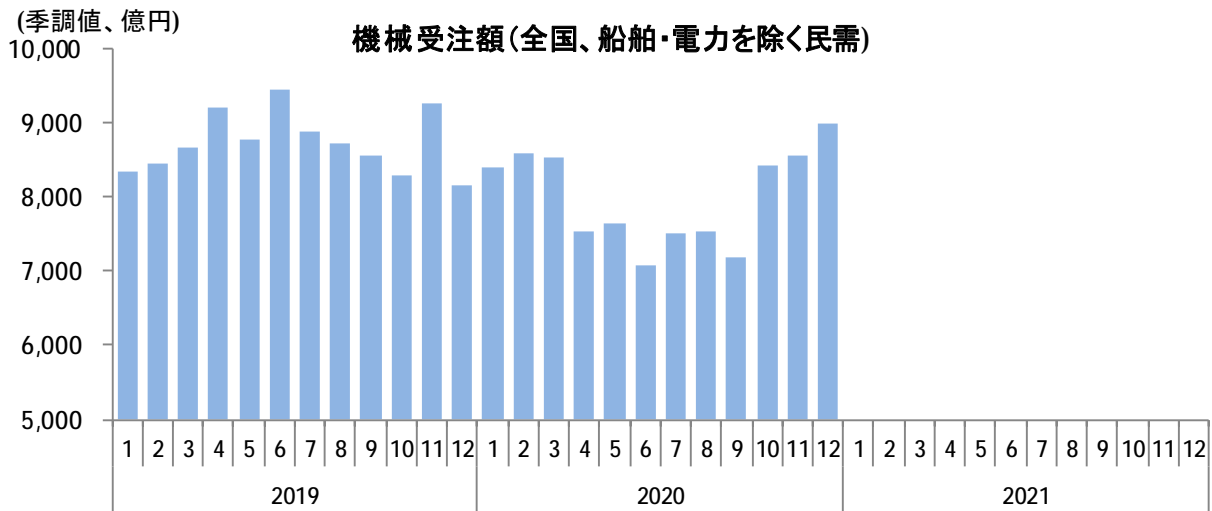
		20年11月	12月	21年1月
千 m <sup>2</sup>	大阪府	293	699	195
前年比 (%)	大阪府	45.6	100.2	▲46.0
	全国	▲10.1	▲14.8	13.2

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、21年1月)	
増加	その他のサービス業(13.6)
減少	運輸業(▲31.5)、医療・福祉(▲15.2)、不動産業(▲14.0)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## [需要] 投資

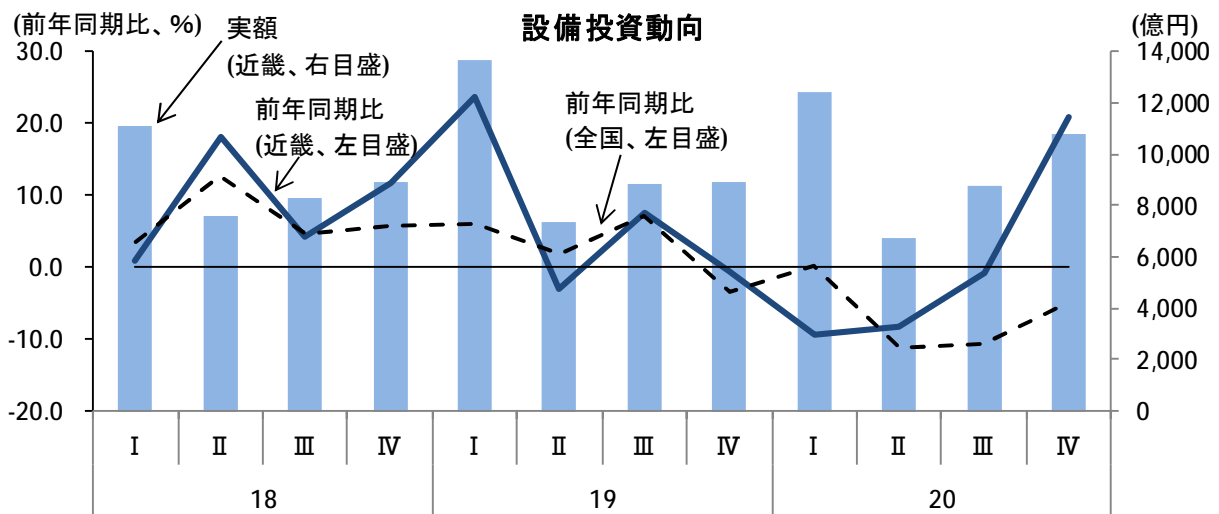
### ○機械受注額【12月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	20年11月	12月	21年1月
全国(億円)	8,548	8,996	

### ○設備投資動向【10~12月期(近畿)は前年同期比で5期ぶりの増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		20年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	6,741	8,786	10,791
前年同期比(%)	近畿	▲8.3	▲0.9	21.0
	全国	▲11.3	▲10.6	▲4.8

### ○公共工事請負金額【2ヶ月ぶりの減少。】

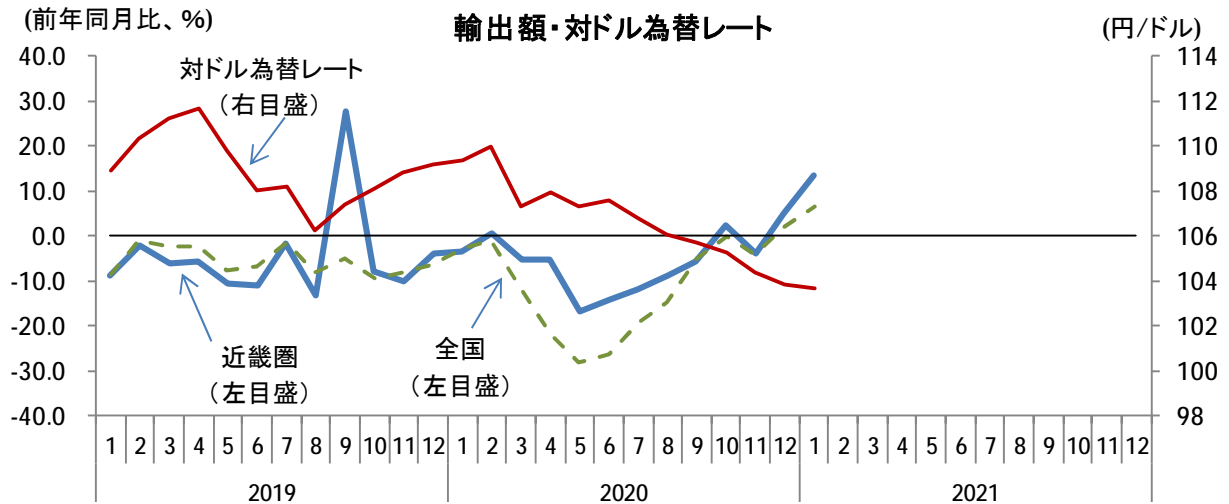
		20年11月	12月	21年1月
億円	大阪府	336	256	204
前年比(%)	大阪府	▲38.8	9.8	▲33.6
	全国	▲3.3	▲8.6	▲1.4

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

## [需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アメリカ向け以外の地域向けで増加。輸入額は減少。

○輸出額【2ヶ月連続の増加。「プラスチック」、「半導体等製造装置」などが増加。主要国・地域向けでは、アメリカ向け以外の地域向けで増加。】

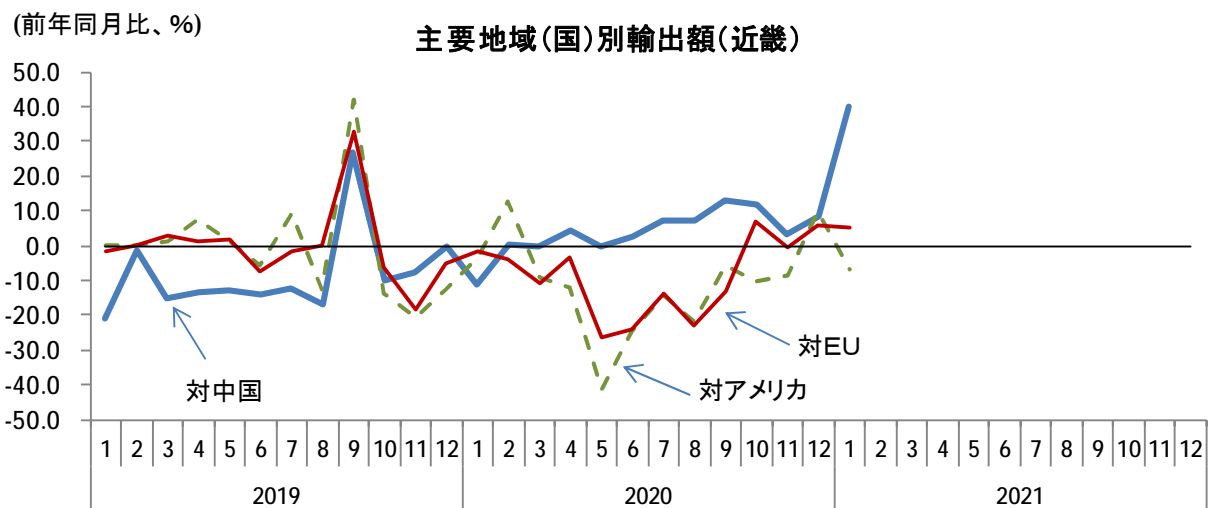


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		20年11月	12月	21年1月
輸出額(億円)	近畿	12,982	14,875	P 12,890
前年比 (%)	近畿	▲4.0	5.2	P 13.3
	全国	▲4.2	2.0	P 6.4
為替レート(円/ドル)		104.40	103.82	103.70

品目別の主な増減 (近畿、前年同月から増減額順、21年1月)	
増加	プラスチック、半導体等製造装置
減少	鉱物性燃料、鉄鋼

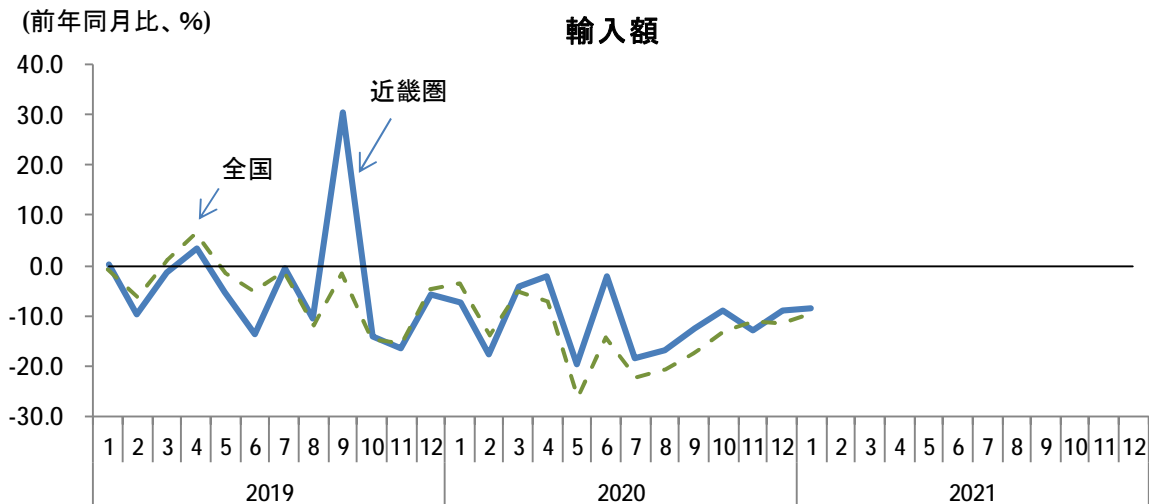


(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、21年1月)		
アジア(含む中国)	22.1	2ヶ月連続の増加
中国	40.0	8ヶ月連続の増加
EU	5.1	2ヶ月連続の増加
アメリカ	▲6.7	2ヶ月ぶりの減少

## [需要] 貿易・観光

### ○輸入額【16ヶ月連続の減少。「原油及び粗油」、「衣類及び同附属品」などが減少。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		20年11月	12月	21年1月
輸入額(億円)	近畿	10,820	P 11,117	P 11,574
前年比 (%)	近畿	▲12.8	P ▲8.9	P ▲8.4
	全国	▲11.1	P ▲11.6	P ▲9.5

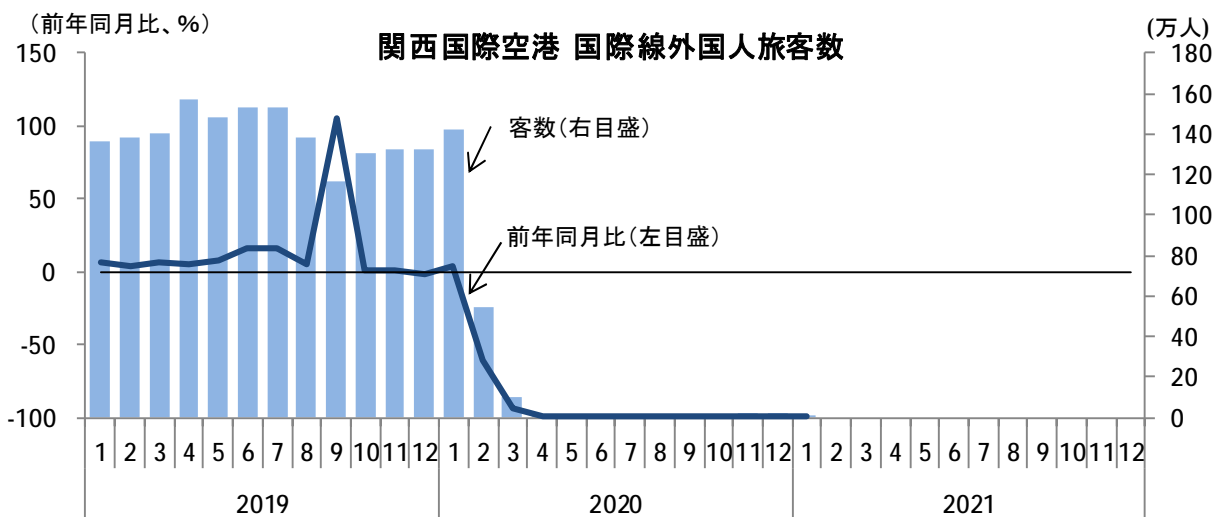
品目別の主な増減  
(近畿、前年同月からの増減額順、21年1月)

増加	通信機、天然ガス及び製造ガス
減少	原油及び粗油、衣類及び同附属品

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、21年1月)

アジア(含む中国)	▲7.0	7ヶ月連続の減少
中国	▲2.4	2ヶ月連続の減少
EU	▲10.1	3ヶ月ぶりの増加
アメリカ	▲11.2	4ヶ月連続の減少

### ○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で12ヶ月連続の減少。】



(資料)関西エアポート(株)

	20年11月	12月	21年1月
万人	2.0	P 2.0	P 1.5
前年比(%)	▲98.5	P ▲98.5	P ▲98.9

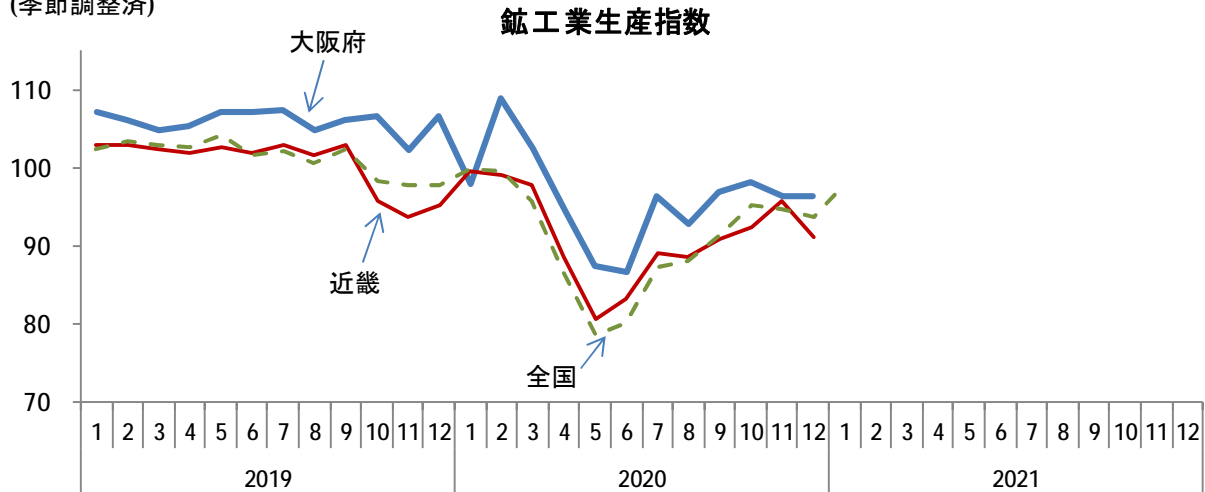


## [供給] 生産・企業活動

生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(12月)では、生産は横ばい、出荷は上昇。近畿の生産(12月)は低下、全国の生産(1月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○鉱工業生産指数【大阪府(12月)は前月比横ばい。「輸送機械」、「電気・情報通信機械」などが上昇。近畿(12月、鉱工業)は4ヶ月ぶりの低下。全国(1月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの上昇。】

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

### 鉱工業生産指数

季調済	20年11月	12月	21年1月
大阪府	96.4	P 96.4	
近畿	95.7	91.1	
全国	94.7	93.8	P 97.7

### 鉱工業出荷指数

季調済	20年11月	12月	21年1月
大阪府	92.7	P 96.2	
近畿	97.6	91.4	
全国	93.8	92.8	P 95.8

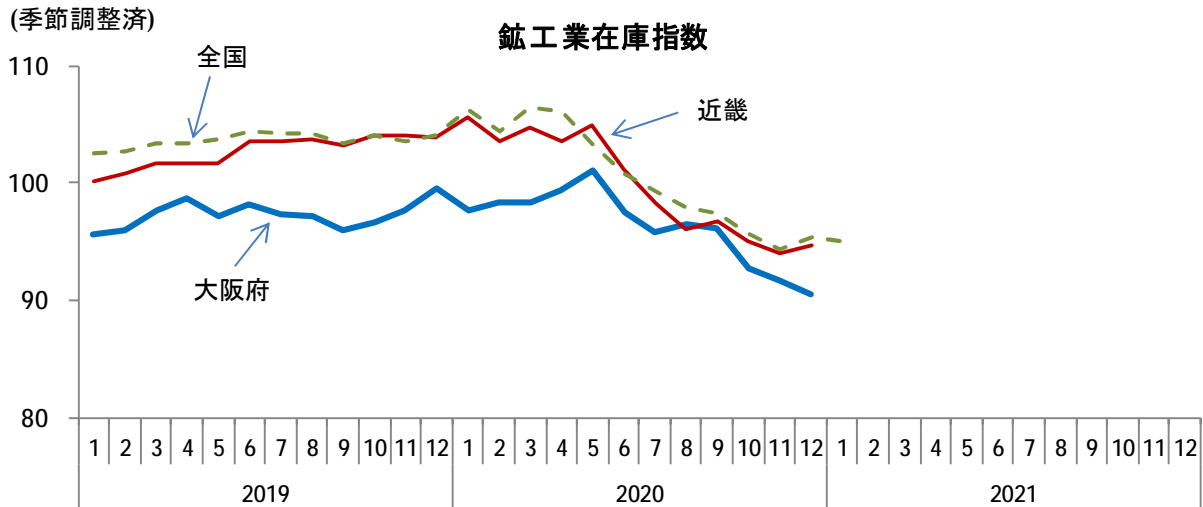
### 生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、12月速報)

上昇	輸送機械(▲39.1): 鉄道車両、鉄道車両部品
	電気・情報通信機械(▲4.6): 無線通信装置(除、移動通信装置)、陸上移動通信装置
低下	窯業・土石製品(▲19.2): 無アルカリガラス基板、光学用ガラス素地
	化学(▲10.7): 医療品、炭酸ガス
	金属製品(▲13.4): 橋りょう、鉄塔
	食料品(▲8.2): ウイスキー、ビール・発泡酒

## [供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(12月)は4ヶ月連続の低下。「化学」、「石油・石炭製品」などが低下。近畿(12月)は3ヶ月ぶりの上昇。全国(1月)は2ヶ月ぶりの低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

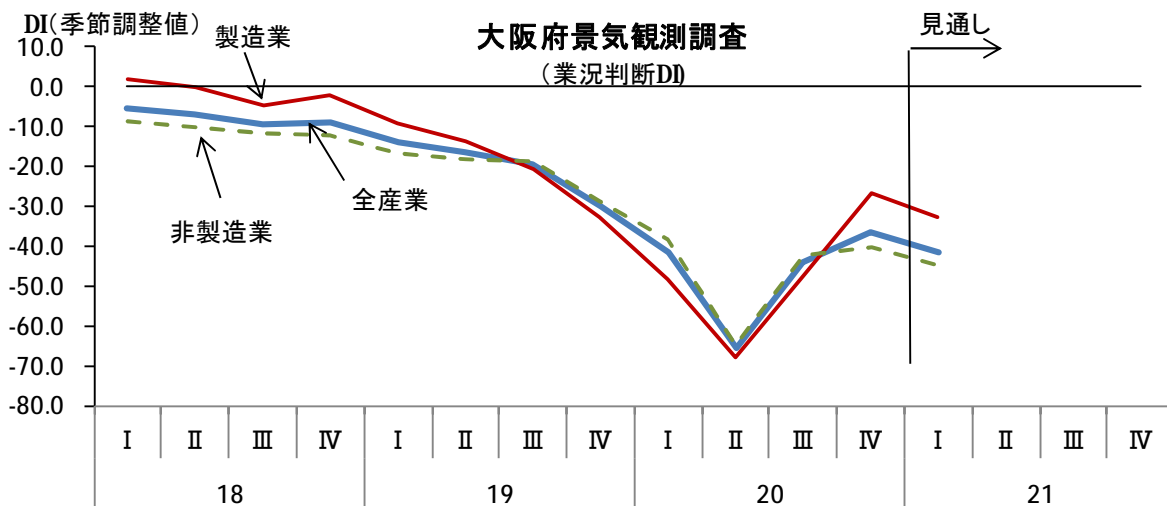
鉱工業在庫指数

季調済	20年11月	12月	21年1月
大阪府	91.7	P 90.5	
近畿	94.0	94.7	
全国	94.3	95.3	P 95.1

在庫指数における産業別の主な変動  
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、12月速報)

上昇	鉄鋼・非鉄金属(2.1):鋼半製品、普通鋼H形鋼 食料品(9.3):チョコレート、ハム・ソーセージ
低下	化学(▲7.5):アンモニア、合成洗剤 石油・石炭製品(▲13.8):灯油、軽油

○企業の業況判断【10~12月期(全産業)は2期連続の改善。】

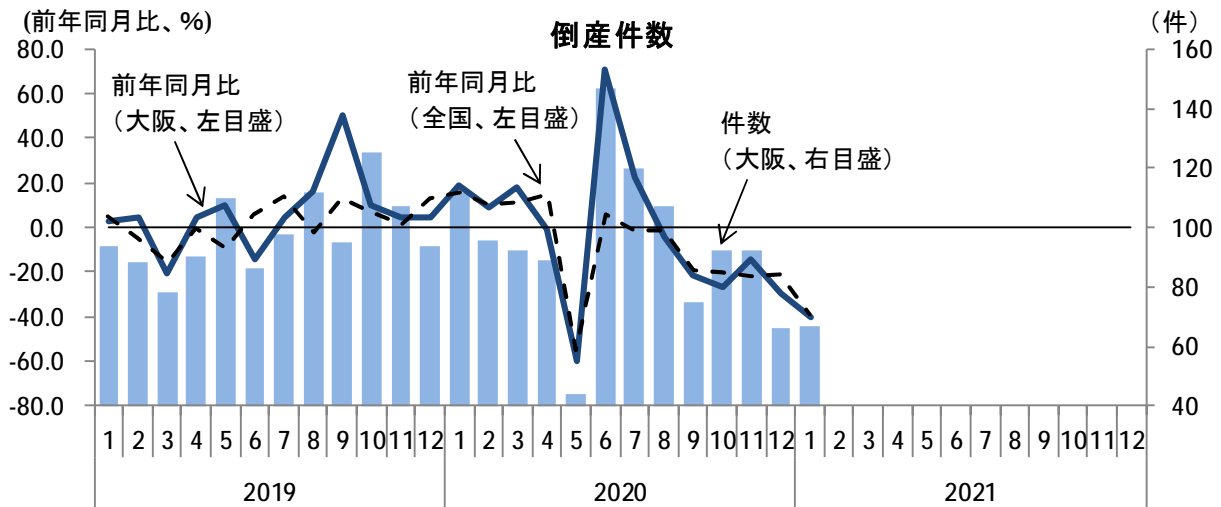


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年1~3月 (見込み)
製造業	▲67.9	▲47.3	▲27.0	▲32.9
非製造業	▲64.8	▲42.5	▲40.4	▲45.0
全産業	▲65.9	▲43.9	▲36.4	▲41.5

## [供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で6ヶ月連続の減少(改善)、負債金額は前年同月比で3ヶ月連続の減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		20年11月	12月	21年1月
件	大阪府	92	66	67
前年比 (%)	大阪府	▲14.0	▲29.7	▲40.1
	全国	▲21.7	▲20.7	▲38.6

負債金額

		20年11月	12月	21年1月
億円	大阪府	50	73	45
前年比 (%)	大阪府	▲47.5	▲65.5	▲42.3
	全国	▲16.6	▲11.6	▲34.7

主要業種の倒産件数(大阪府)

	20年11月	12月	21年1月
建設業	17	8	8
製造業	8	10	5
卸売業	10	10	8
小売業	10	8	9
サービス業他	41	22	30

主な倒産(大阪府、21年1月)

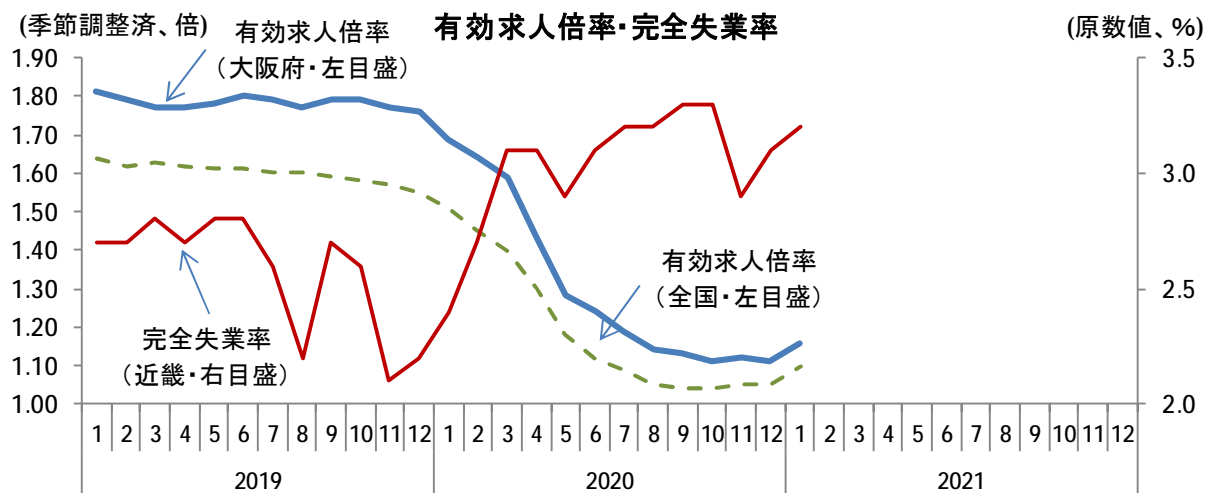
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
ホテル経営	971	その他
貸切旅客自動車運送業	500	販売不振
子供服小売	400	販売不振
クリニック経営	320	既往のシワ寄せ

## [供給] 雇用

雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(12月)は低下。

### ○完全失業率【近畿は11ヶ月連続の悪化。】

有効求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりの上昇】、新規求人倍率【大阪は4ヶ月連続の上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	20年11月	12月	21年1月
%	2.9	3.1	3.2
前年同月差	0.8	0.9	0.8

完全失業率(全国、季節調整値)

	20年11月	12月	21年1月
%	3.0	3.0	2.9
前月差	▲0.1	0.0	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	20年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	3.3	3.9	3.3
近畿	3.0	3.2	3.1
全国	2.8	3.0	2.9

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	20年11月	12月	21年1月
大阪府	1.12	1.11	1.16
全国	1.05	1.05	1.10

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	20年11月	12月	21年1月
大阪府	2.35	2.36	2.59
全国	2.04	2.11	2.03

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減  
(大阪府、前年同月比(%))

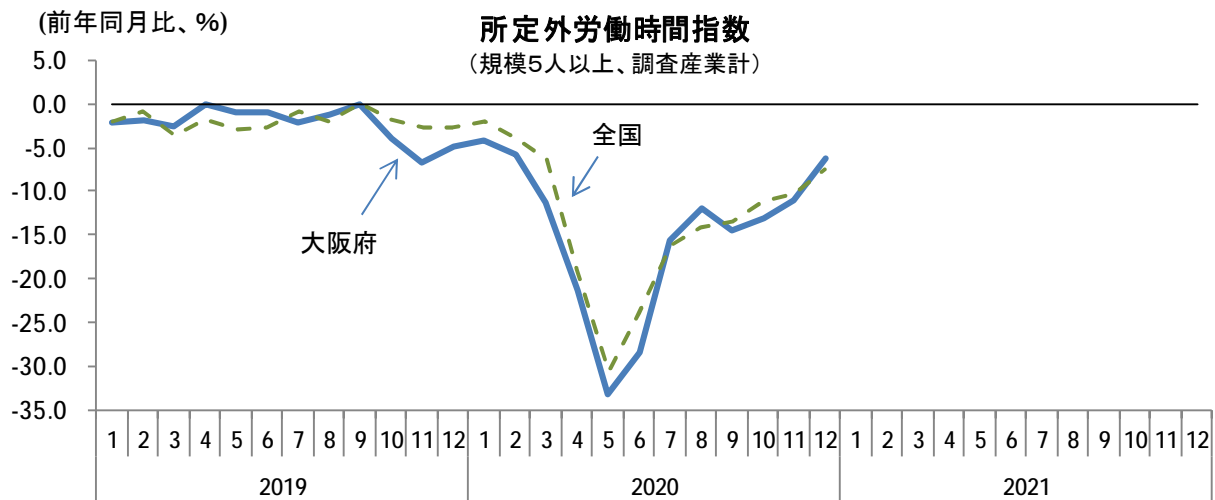
	20年11月	12月	21年1月
産業計	▲22.9	▲20.7	▲14.8
建設業	▲18.4	19.8	0.4
製造業	▲34.3	▲20.3	▲22.7
卸売業、小売業	▲36.4	▲33.6	▲23.4
宿泊業、 飲食サービス業	▲14.8	▲54.1	▲9.3
医療、福祉	▲10.2	▲6.4	▲7.4

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用

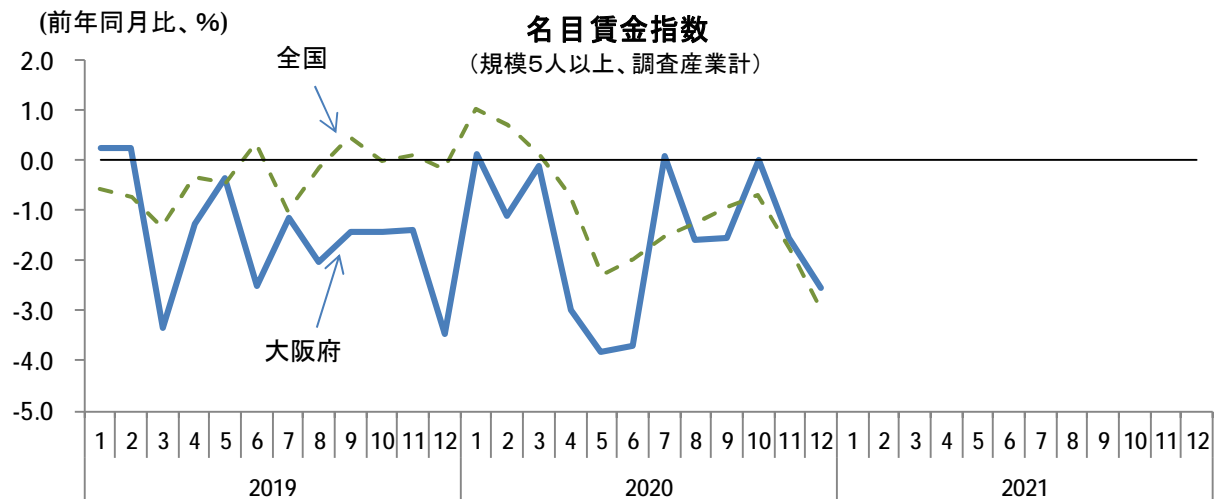
### ○所定外労働時間指数【大阪府(12月)は15ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2015年=100)による。

		20年11月	12月	21年1月
指数	大阪府	82.9	86.7	
前年比 (%)	大阪府	▲11.1	▲6.2	
	全国	▲7.6	▲7.6	

### ○名目賃金指数【大阪府(12月)は2ヶ月連続の低下。】

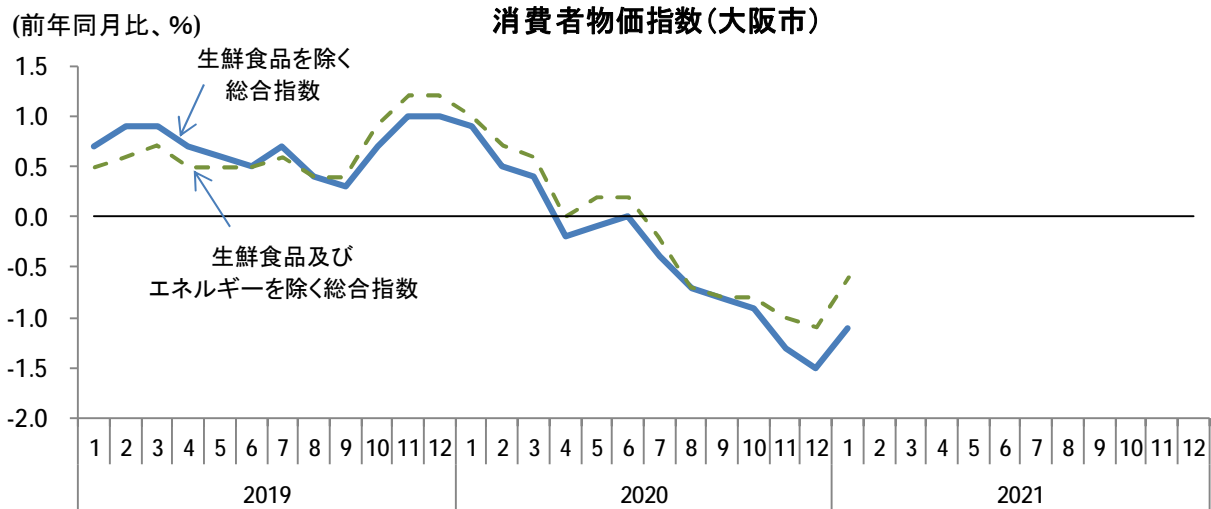


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2015年=100)による。

		20年11月	12月	21年1月
現金給与総額(円)	大阪府	279,563	580,976	
前年比 (%)	大阪府	▲1.5	▲2.5	
	全国	▲3.2	▲3.0	

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は7ヶ月連続の低下。「食料」「光熱・水道」が低下に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は7ヶ月連続の低下。】



（資料）大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2015年=100。

### 総合指数

		20年11月	12月	21年1月
指数	大阪市	100.4	100.0	P 100.5
前年比 (%)	大阪市	▲1.2	▲1.6	P ▲1.1
	全国	▲0.9	▲1.2	▲0.6

### 生鮮食品を除く総合指数

		20年11月	12月	21年1月
指数	大阪市	100.0	99.8	P 100.0
前年比 (%)	大阪市	▲1.3	▲1.5	P ▲1.1
	全国	▲0.9	▲1.0	▲0.6

### 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		20年11月	12月	21年1月
指数	大阪市	100.7	100.6	P 100.9
前年比 (%)	大阪市	▲1.0	▲1.1	P ▲0.6
	全国	▲0.3	▲0.4	0.1

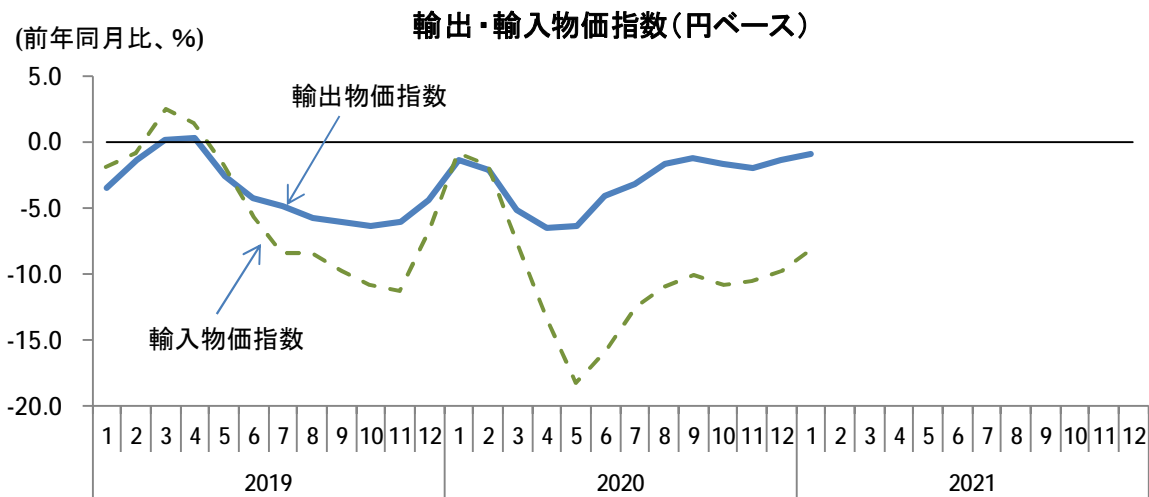
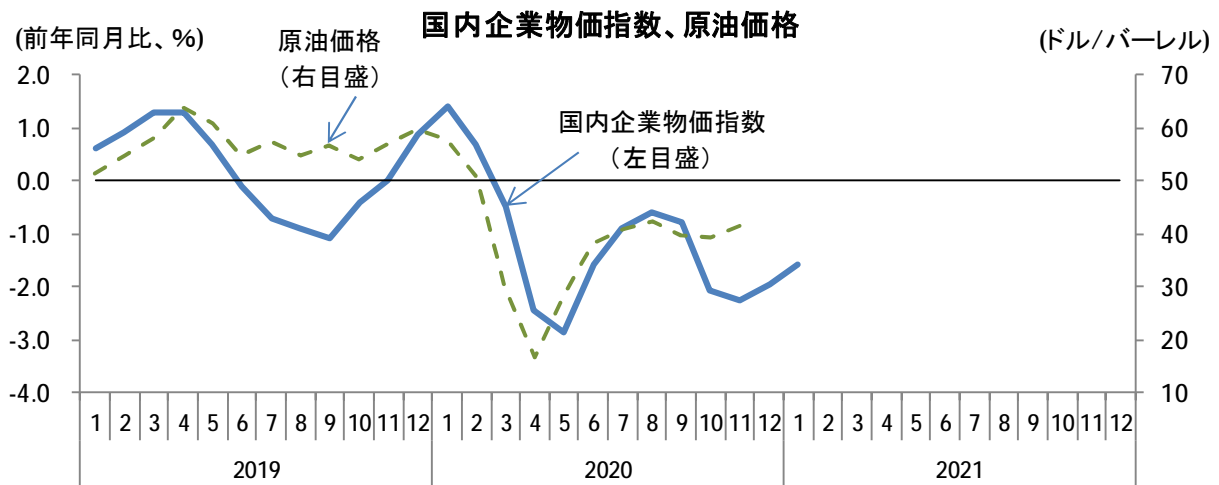
### 総合指数において主に変動した分類

（大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、21年1月速報）

上昇	被服及び履物(2.5):洋服(婦人用スーツ(秋冬物、中級品)、婦人用上着、婦人用コート)、シャツ・セーター類(男子用セーター、婦人用Tシャツ(長袖))
低下	食料(▲2.1):外食(学校給食(小学校)、学校給食(中学校))、肉類(牛肉(輸入品)、牛肉(国産品)、ベーコン) 光熱・水道(▲6.7):ガス代(都市ガス代)、他の光熱(灯油)

## [その他] 物価

### ○企業物価指数【国内企業物価指数は低下。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は 2015 年=100。

#### 企業物価指数

	20年11月	12月	21年1月
国内企業物価指数	99.8	100.3	P 100.7
輸出物価指数	90.1	90.7	P 91.5
輸入物価指数	82.7	84.4	P 86.3

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015年=100。

#### 国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(21年1月速報、寄与度(%))

石油・石炭製品 (0.24) : ガソリン、軽油、C重油
化学製品 (0.11) : キシレン、エチレン、触媒
農林水産物 (▲0.13) : 精米、鶏卵、牛肉

#### 原油価格(WTI)

	20年11月	12月	21年1月
ドル/バーレル	41.520	—	—